



TRAINING

・SDIのインストラクションの考え方

コースの設定、ランクアップは、スモールステップでダイビング能力を引き上げ、スキルを向上させ、永く楽しめる自立したダイバーを育てることを目標とした無理のない成長を楽しめるものとなっています。OWSD(オープンウォータースクーバダイバー)コースを例にご説明いたします。

OWSD コース

Open Water Scuba Diver

・ホームワーク学習

教材の問題を完全に答えてきたかにフォーカスするのではなく、コースのコンセプトや本質を完全に理解し、実際にそれらを活用できるようになる事を大切にしています。

・インストラクターによる学科講習

学科講習の主な焦点は、教育であり、セールスではありません。講習生の人数やタイプに合わせてアレンジされたカリキュラムでスキルを身につけられるよう講習をしています。SDI インストラクターがフレキシブルに講習生に適切な指導を行い、自立したダイバーを目指すことを大切にしています。

“Teach divers, not skills”

スキルを教えるだけではない、自立したダイバーを育成する！

自信をもって自立したダイバーを育成するという最終目標について常に意識したいと考えているのが SDI インストラクターなのです。

・限定水域（コンファインドウォーター）

少なくとも4回の限定水域セッションが必要ですが、インストラクターはセッションを自由に組み替えられます。ダイバーが海洋実習で楽しく快適に過ごせるように限定水域を組み立てているのです。

・海洋実習（オープンウォータートレーニング）

C-card を取得するとすぐにダイブコンピュータを活用します。そのために最初から安全に使用方法を学ぶべきと考えます。コンピュータの背景となる原則を理解するのに役立つとインストラクターが思う場合、ダイブテーブルを教えることがありますが、必須ではありません。





オープンウォータースキューバダイバー

- SDI スノーケラー
- 体験ダイビング
- フューチャーバディ
- シャロウウォーターダイバー
- スーパーバディダイバー

アドバンスダイバー

レスキューダイバー

マスターダイバー

SDI ダイブマスター

プランクダイバー
リフレッシュプログラム

SDI アシスタント
インストラクター

SDI インストラクター

スクビリティダイバー

SDI スクビリティダイバー
インストラクター

SDI IT スタッフインストラクター

SDI インストラクタートレーナー

- アドバンスアドベンチャー
- アドバンスボヤジーコントロール
- 高所
- ホット
- コンピュータ
- コンピュータナイトロックス
- CPROX 1st AED
- ディープ
- 水中スクーター
- ドリフト
- ドライスーツ
- 器材
- フルフェイスマスク
- アイス
- マリンエコシステムアウェアネス
- ナイト/視界不良
- リサーチ
- サーチ&リカバリー
- ビーチ
- サイトマウント
- ソロ
- 水中ナビゲーション
- 水中写真
- 水中ビデオ
- 目視検査手順
- レック

